



栗田工業株式会社

2022年3月期 第1四半期
決算説明会

(証券コード：6370)

2021年8月2日

1 2022年3月期 第1四半期実績	p 1 - 9
2 重点施策の進捗状況	p10-13

1 | 2022年3月期 第1四半期実績

業績概況



(単位：億円)		2020/6期	2021/6期	前年同期比	上期見通し	前年同期比	
受	注	高	654	776	+ 18.6%	1,410	+ 10.5%
売	上	高	610	632	+ 3.6%	1,280	△ 2.3%
事	業	利	56	59	+ 4.6%	140	△ 0.3%
そ	の	他	2	△ 1	—	△ 5	—
の	収	支					
営	業	利	58	58	△ 0.5%	135	△ 18.0%
税	引	前	57	56	△ 0.9%	131	△ 17.3%
親	会	社					
の	所	有					
者	に	帰					
属	す	る					
四	半	期	39	37	△ 4.9%	86	△ 20.2%
利	益						
1	株	当	35.02	33.29	△ 4.9%	76.55	△ 20.2%
		た					
		り					
		四					
		半					
		期					
		利					
		益					
		(
		円)					
為	替						
レ	ー						
ト							
	USD	(107.62	109.49			
	円)						
	EUR	(118.48	131.96			
	円)						
	CNY	(15.17	16.96			
	円)						

- 当四半期より、水処理薬品事業会社である中東のクリタ・アクアケミー社とカナダのキーテック・ウォーター・マネジメント社を新規連結。
- 海外水処理薬品の需要回復と電子産業向け水処理装置やメンテナンスの受注増により受注高が増加。

注) 前期に新規連結したペンタゴン・テクノロジーズ社のPPA確定により、2021年3月期第1四半期実績を遡及修正しています。

セグメント別の実績

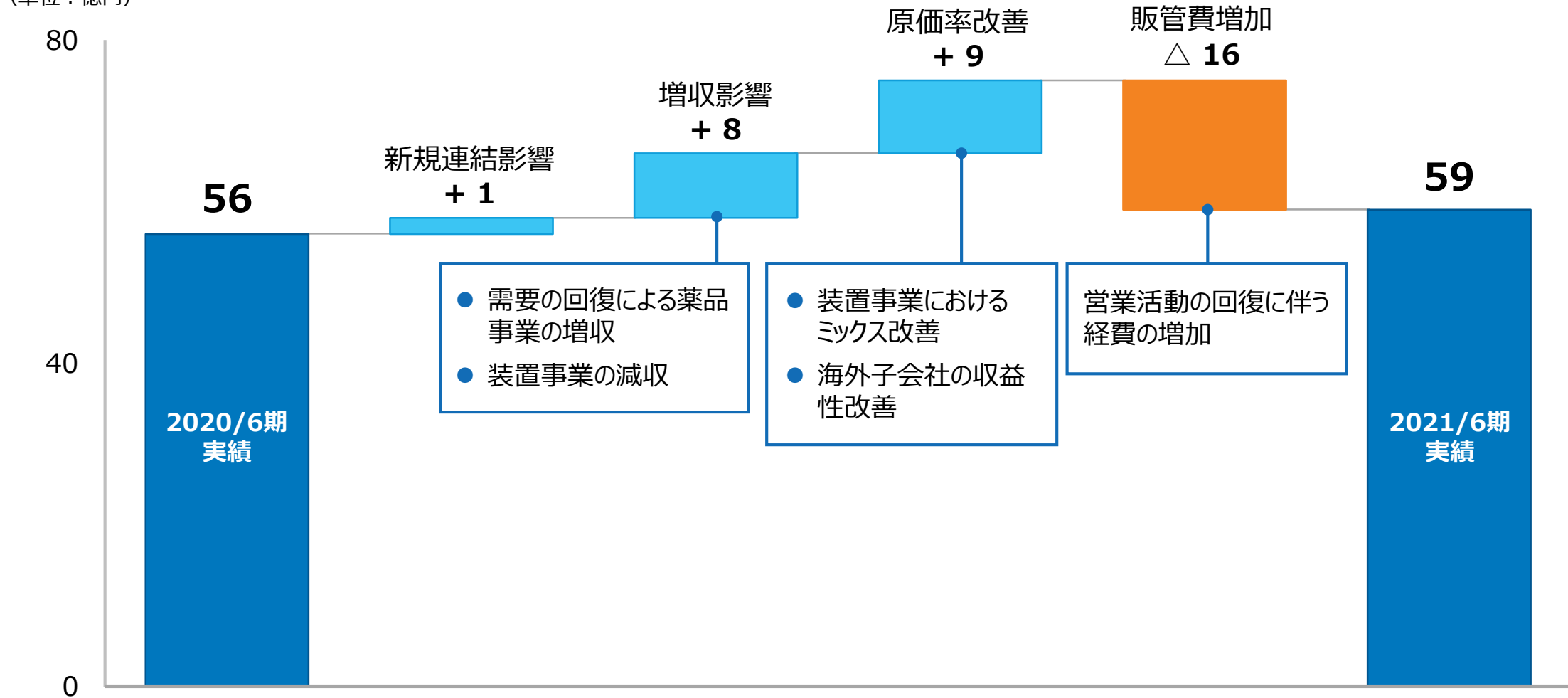
(単位：億円)		2020/6期	2021/6期	前年同期比	上期見通し
全社	受注高	654	776	+ 122	1,410
	売上高	610	632	+ 22	1,280
	事業利益	56	59	+ 3	140
	事業利益率	9.2%	9.3%	+ 0.1pp	10.9%
	営業利益	58	58	△ 0	135
水処理薬品事業	受注高	257	292	+ 35	563
	売上高	245	279	+ 34	560
	事業利益	28	32	+ 4	81
	事業利益率	11.4%	11.6%	+ 0.2pp	14.5%
	営業利益	28	32	+ 5	78
水処理装置事業	受注高	397	484	+ 87	847
	売上高	365	353	△ 12	720
	事業利益	28	27	△ 2	59
	事業利益率	7.8%	7.5%	△ 0.3pp	8.2%
	営業利益	31	26	△ 5	57

- 水処理薬品事業は、主に海外での薬品需要の回復により増収増益。
- 水処理装置事業の受注高は、海外装置と国内外メンテナンスの受注増により増加。
- 水処理装置事業の売上高は、主に海外装置で前年同期に売上計上した大型案件がなくなったことにより減少。
- 水処理装置事業の事業利益は、原価率は改善するも、減収影響や営業活動の回復に伴う経費の増加により減少。

注) 前期に新規連結したペンタゴン・テクノロジーズ社のPPA確定により、2021年3月期第1四半期の水処理装置事業の実績を遡及修正しています。

事業利益の増減要因（前年同期比）

(単位：億円)



(単位：億円)	2020/6期	2021/6期	前年同期比	上期見通し
受注高	257	292	+ 35	563
国内	114	116	+ 2	226
海外	144	177	+ 33	337
売上高	245	279	+ 34	560
国内	101	102	+ 1	223
海外	144	177	+ 33	337
事業利益	28	32	+ 4	81
事業利益率	11.4%	11.6%	+ 0.2pp	14.5%
営業利益	28	32	+ 5	78

- 新たにクリタ・アクアケミー社とキーテック・ウォーター・マネジメント社を連結。
- 国内の売上高は、顧客工場の稼働率改善に伴う需要の回復があった一方で、前年同期に見られた顧客の在庫積み増しの動きがなくなったことから微増。
- 海外は、新規連結影響に加えて、薬品需要が回復したほか、円安の進行による為替換算額増加により増収。
- 事業利益は、増収効果が販管費増加の影響を上回り増益。

海外地域別売上高

(単位：億円)	2020/6期	2021/6期	前年同期比	上期見通し
アジア	52	63	+ 11	122
北南米	49	55	+ 5	113
EMEA	43	59	+ 17	102
合計	144	177	+ 33	337

増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 10
為替影響	+ 12
新規連結	+ 10

水処理装置事業（国内電子産業向け）



（単位：億円）	2020/6期	2021/6期	前年同期比	上期見通し
受注高	132	154	+ 21	296
装置	8	9	+ 1	30
メンテナンス	36	49	+ 13	76
超純水供給事業	69	73	+ 4	149
精密洗浄	20	24	+ 4	42
売上高	128	142	+ 13	296
装置	5	10	+ 5	25
メンテナンス	35	35	△ 0	81
超純水供給事業	69	73	+ 4	149
精密洗浄	20	24	+ 4	42

- 装置の受注高は前年同期並み、売上高は前期に受注した大型案件の工事進捗により増加。
- メンテナンスの受注高は、増設や消耗品交換案件により増加も、売上高は前年同期並みの水準。
- 超純水供給事業は、前期に供給を開始した案件の寄与により受注高・売上高ともに増加。
- 精密洗浄は、新規案件の獲得により受注高・売上高ともに増加。

水処理装置事業（国内一般産業向け）

（単位：億円）	2020/6期	2021/6期	前年同期比	上期見通し
受注高	155	171	+ 16	326
エネルギー・インフラ	138	155	+ 17	272
土壌浄化	10	9	△ 2	42
その他	7	8	+ 1	12
売上高	122	108	△ 14	221
エネルギー・インフラ	102	92	△ 10	182
土壌浄化	14	8	△ 6	27
その他	6	7	+ 1	12

- エネルギー・インフラの受注高は、一般産業向けメンテナンスの需要回復や一般産業向け装置での大型案件の受注により増加。
- エネルギー・インフラの売上高は、官公需向けメンテナンスや電力向け装置、エンジニアリング洗浄の減収により、減少。
- 土壌浄化は、前年同期に大型案件を受注した反動と受注済み案件の売上計上の一巡により受注高・売上高ともに減少。

水処理装置事業（海外）

（単位：億円）	2020/6期	2021/6期	前年同期比	上期見通し
受注高	110	159	+ 49	225
装置	41	70	+ 29	93
メンテナンス	34	46	+ 12	61
超純水供給事業	7	8	+ 1	15
精密洗浄	27	34	+ 7	56
売上高	114	104	△ 11	203
装置	51	34	△ 17	81
メンテナンス	29	27	△ 2	52
超純水供給事業	7	8	+ 1	15
精密洗浄	27	34	+ 7	56

- 中国では、受注高は大型案件の受注により増加、売上高は前年同期並み。
- 韓国では、受注高は大型案件の受注により増加、売上高は受注済み案件の売上計上の一巡により減少。
- 台湾では、受注高は前年同期並み、売上高は受注済み案件の売上計上の一巡により減少。
- 北米の売上高は前年同期並みとなったが、精密洗浄は新規案件の獲得により増収。

海外地域別売上高

（単位：億円）	2020/6期	2021/6期	前年同期比	上期見通し
アジア	64	54	△ 10	115
北南米	50	50	△ 0	88
合計	114	104	△ 11	203

増減要因（億円）

オーガニック増減	△ 16
為替影響	+ 5

サービス事業売上高内訳

(単位：億円)	2020/6期	2021/6期	前年同期比	上期見通し
水処理薬品事業	245	279	+ 34	560
水処理装置事業	290	293	+ 3	587
超純水供給事業	76	81	+ 5	164
国内精密洗浄	20	24	+ 4	42
海外精密洗浄	27	34	+ 7	56
土壌浄化	14	8	△ 6	27
国内メンテナンス	120	113	△ 6	236
海外メンテナンス	29	27	△ 2	52
その他	5	6	+ 0	12
合計	536	572	+ 37	1,147

- 水処理薬品事業は、海外における薬品需要の回復により増収。
- 超純水供給事業は、前期に供給を開始した案件の寄与により増収。
- 精密洗浄は、国内・海外ともに新規案件の獲得により増収。
- 土壌浄化は、大型案件の売上計上が一巡。
- 国内メンテナンスは、主に官公需向けメンテナンスとエンジニアリング洗浄で減収。

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	2020/6期	2021/6期	2022/3期 (見通し)
設備投資額（有形*）	27	131	634
超純水供給事業	5	45	326
上記以外	22	86	307
減価償却費（有形*）	44	48	197
水処理薬品事業	10	12	41
水処理装置事業	34	36	156
研究開発費	11	12	52
水処理薬品事業	4	4	16
水処理装置事業	7	8	37

- 超純水供給事業の設備投資額は増加。
- 上記以外の設備投資の増加は、主に国内の新開発拠点向け投資によるもの。
- 減価償却費と研究開発費は、計画に沿った進捗。

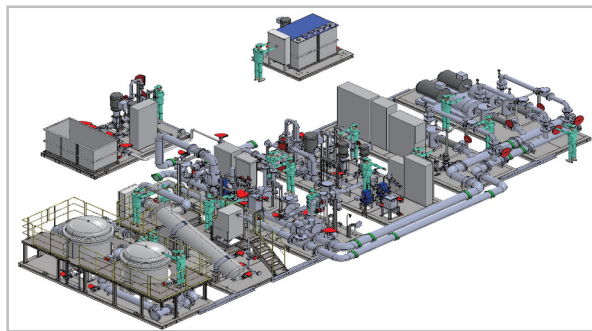
* 使用権資産含む。

2 | 重点施策の進捗状況

社会・産業インフラ市場の収益基盤の強化

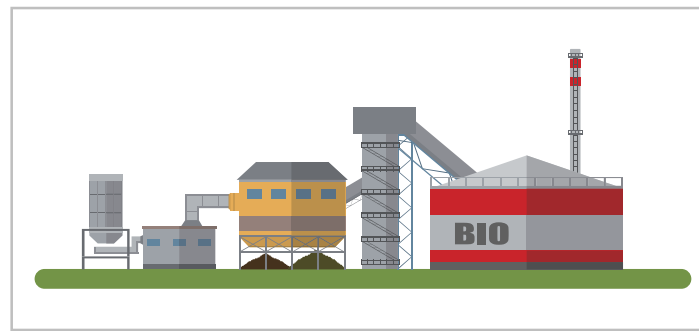
既存分野

- 競争優位性の高い工法・洗浄技術の開発
- 仮設機材のスキッド化、省スペースによる工期短縮



成長分野

- バイオマス発電を主体とする再生可能エネルギー市場への展開



新規分野

- 顧客BCPに貢献するリース契約ビジネス



■ 安定収益の確保

■ 事業規模拡大

■ 新規事業創出

ASEAN5社の一体運営によるシナジー創出



各社のベンチマーキングによる課題抽出

ASEANの相互サポート体制の構築

売上拡大・収益性改善

- ASEAN全体リソースを活用したCSVビジネスと総合ソリューションの拡大
- デジタルツールを活用した顧客設備診断サービスの拡大
- ウェビナーの開催やSNSを活用した新規顧客の開拓
- 原材料調達の最適化によるコストダウンと梱包・原料切り替えによる生産時間短縮

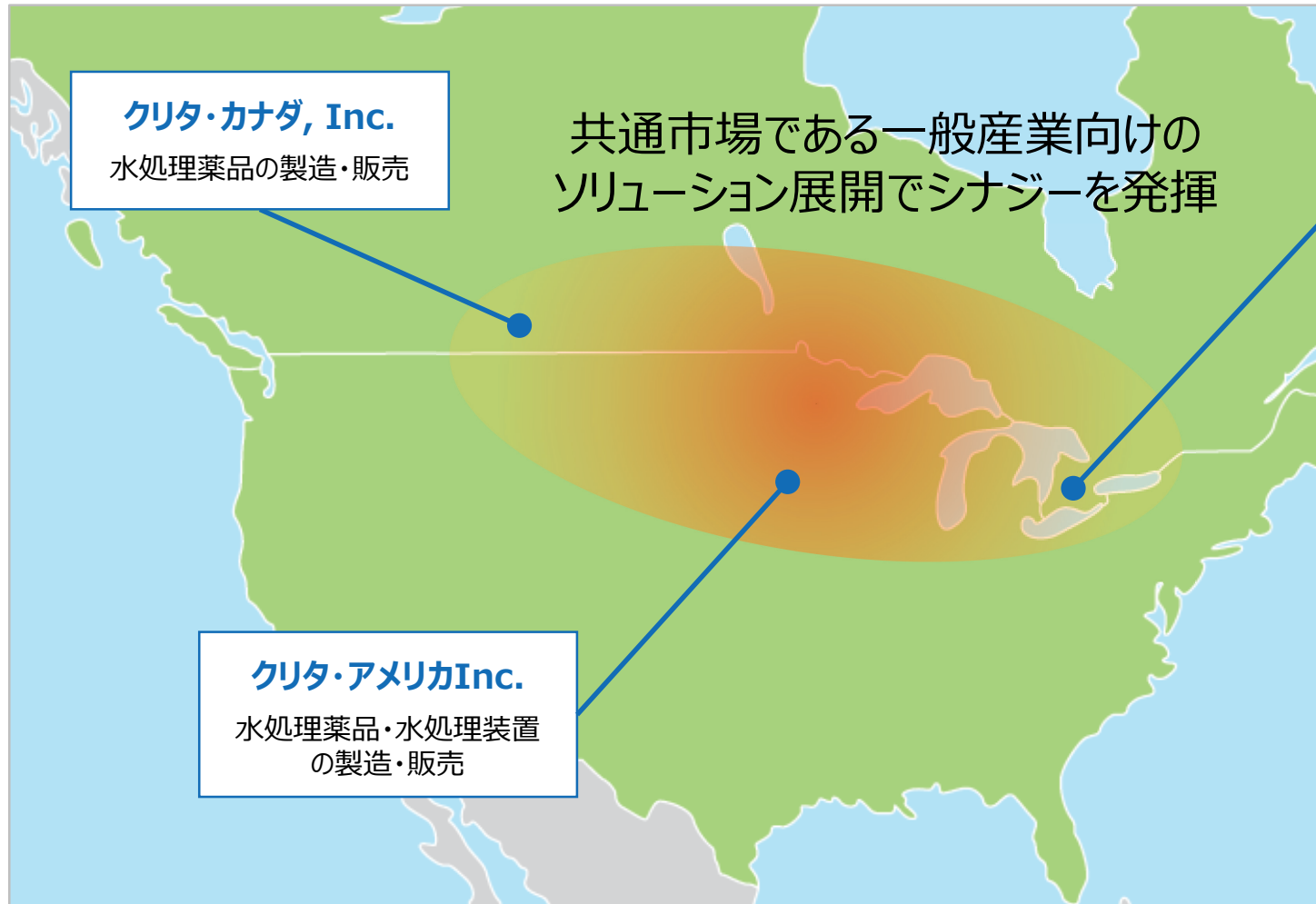
湾岸諸国での事業成長に必要な生産設備と販売網を獲得



株式取得	2021年4月
事業内容	水処理薬品の製造・販売
主な製品	油井向けプロセス薬品、石油精製・化学向けプロセス薬品、冷却水薬品、ボイラ薬品、RO膜薬品
対象市場	油井、石油精製・石油化学、海水淡水化施設など (推定市場規模 約450億円)



産業集積地であるカナダ東部の事業基盤を獲得



キーテック・ウォーター・マネジメント (2021年4月買収)	
設立	1981年
株主構成	クリタ・カナダ, Inc. (100%)
事業内容	水処理薬品・付帯機器の製造・販売
対象市場	バイオ燃料や病院、ビル空調、食品・飲料など



将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

本資料内で使用している商標（製品、サービス、ロゴ）は、当社または当社に使用を認めた権利者に帰属します。